

# 会 議 録

担当

主査

主幹

課長

会議名	第1回 川島町子ども・子育て会議
開催日時	平成25年11月20日(水) 午前10時から
場 所	保健センター2階 商工会会議室
議 題	(1) 子ども・子育て支援新制度について (2) 子ども・子育て支援事業計画策定ニーズ調査について (3) 子ども・子育て支援新制度導入スケジュールについて (4) その他
出席者	飯島副町長 川島町子ども・子育て会議委員15名(別添名簿を参照ください) 地域計画株式会社 企画計画室 三澤淳子 事務局(子育て支援課 井上課長 松本主査 矢島)
1 開 会	井上課長
2 あいさつ	飯島副町長
3 委嘱状交付	代表して中谷委員に飯島副町長より交付
4 委員紹介	中谷委員より時計回りに各自自己紹介
5 会長、副会長選出	川島町子ども・子育て会議条例第5条により委員の互選によって定めるが、推薦がないため事務局案として会長に中谷委員、副会長に高倉委員を推薦しました。各委員より拍手をもって承認されました。
6 議 題	(1) 子ども・子育て支援新制度について 事務局より説明をし、ご理解をいただきました。質疑はありませんでした。 (2) 子ども・子育て支援事業計画策定ニーズ調査について 事務局より説明をし、委員より意見をいただきました。
<b>調査票案についての意見</b>	
議 長：基礎的データとなるニーズ調査は非常に重要となってきます。調査票は国、県との共通項目となっていると思いますが、まず、調査票案についてご意見ありますか。	
新井委員：未就学児の調査票のP3の間12ですが、在宅で仕事をしている人は、就労形態はどれを選べばいいのですか。数は少ないと思いますが、そういう人たちをすくいあげる聞き方は難しいのでしょうか。	
事務局：国、県の選択肢ですが、少し修正できればしたいと思います。	
議 長：この設問の趣旨は、フルタイムで働いているか、パートタイムで働いているかということだと思いますので、自営業や家族従事者含むと書かれており、1日の仕事時間で柔軟に対応していると思います。	
高倉委員：農家や商店の人たちもいますので、補足説明がほしいですね。	
議 長：国や県の調査票をどのように修正してあるのでしょうか。修正は可能ですか。	

事務局：補足でわかりやすくすることは可能です。

議 長：多様な就労形態がありますので、自営業、農業の人たちもイメージできるようなものを設問または下に注記する形で検討してください。

笛木委員：とねがわ幼稚園は預かり保育があるので働いている母親が多いです。もし、川島町に認定こども園があれば、最初から認定こども園に入れたのか、途中から幼稚園に移ってきたのか聞いてもらえるといいですね。

議 長：追加の町独自の設問として検討してください。

高倉委員：将来、川島町に認定こども園があったらいいのかも聞きたいですね。

議 長：年齢によって預ける先が変わるのかどうかの設問の追加を検討していただけますか。

鈴木委員：預かり保育を実施している幼稚園が認定こども園に移行することが考えられ、もし追加するとしたら「幼稚園が預かり保育を6時～7時まで実施するとしたら、幼稚園、保育所、認定こども園のどこに入れますか」ですね。

高倉委員：保育園も認定こども園になることが考えられるので、両方入れないといけないですね。

議 長：認定こども園という言葉を出すより、どういうタイプを選ぶかという風にして、サービスの提供形態のパターンがいくつかできると思いますので、追加し、各委員にメールかファックスで送っていただいて確認ということで、スケジュールは大丈夫でしょうか。

金委員：認定こども園と書いてもわからない人が多いと思いますので、形態をいくつか書くことは大切ですね。

議 長：真のニーズを測れるほうがいいですね。

新井委員：どのニーズが一番あるかということとその理由も聞いてほしいですね。第3子は無料なので保育園を選ぶ人もいます。そういう母親の心理もわかればメンタルケア、母親支援の参考にもなると思います。

議 長：選択の動きが見えてくるものを検討してください。

事務局：先ほどの笛木委員のご提案はその時点でのニーズということでしょうか。

笛木委員：将来どうするのかも聞きたいですが、「今、6歳で幼稚園にいるけれど、小さい頃は保育園にいた」のはなぜかも聞ければいいですね。

#### 追加設問についての意見

議 長：町独自の追加設問で、「町立幼稚園の跡地利用」についてはいかがですか。

高倉委員：跡地利用なのか建物利用なのかですね。

事務局：施設はそのままです。

議 長：更地のイメージがありますので、「廃園後の再利用」とした方がいいですね。他にありますか。

高倉委員：就学児童の調査票でP3の問11の誘導は「2.いない」ではなく「1.いる」を選ばれた方ですね。就学児の調査票にはファミリーサポートセンターなどは川島町では実施していないと書かれてありますが、未就学児の調査票には書かれていません。就学児童の調査票のP9の注記は、ファミリーサポートセンターに米印をつけないとどの言葉の説明なのかわからないですね。的確な答えを得るためには情報をつけてあげないといけないと思います。本日の資料の「放課後児童クラブの概要」のようなものをつけたらいかがでしょう。

鈴木委員：ないものはないと入れたほうがいいですね。実施しているものの一覧表をつけるのはいかがでしょう。アンケートをとりながら町の事業の説明にもなります。小学生が「ベビーシッター」に預けるのはどうか、「病児・病後児保育」などをきちっと整理したほうがいいですね。

議 長：就学児童の調査票のP12の問26には「上記②③④⑩については川島町にはありません。」とありますが、その下の問26-1には書かれていません。問26は認知度、利用度で問26-1は満足度なので利用したことがないとわからないわけですから、問26に入れるよりむしろ問26-1に入れたほうがいいのではないのでしょうか。または両方に入れるかですね。

高倉委員：町外の施設を使う人もいますよね。

議 長：そうですね。では、一覧表をつけたらいかがでしょう。

鈴木委員：「放課後子ども教室」の解説をつけたほうが良いと思います。

高倉委員：就学児童の調査票のP8に説明がありますが、「放課後児童クラブ」と区別がつかない人が多いと思います。

事務局：事業のPRにもなりますので、町で実施しているものを別紙で一覧表にしてつけるようにします。

笛木委員：就学児童の調査票の問16-3の選択肢に「子どもが行きたくなくてやめてしまった」を入れてほしいです。

議 長：選択肢を増やすことが可能であれば追加してください。

事務局：追加します。

牛村委員：子どもは4年生以上になると公園で集団で遊びたいのですが、ボールを使ったりすると近所の人の手前、大きい声を出したり、ボールが飛んできたりすると学校に連絡されたりして、公園があっても遊べない、利用できていないということをお母さん方から聞きます。未就学児の調査票のP15の問27「8.」に公園、公民館などがありますが、公園は安全だけれど行けないのです。その辺のお母さんたちの声が聞けないのでしょうか。

鈴木委員：就学児童の調査票の問31にどういう施設がほしいですかということを入れたらいかがでしょう。

議 長：未就学児の調査票にはないですね。1世帯に1調査票が配布されるわけですから、未就学児には答えるところがないので、就学児童の問31と同じものを未就学児の調査票の一番後ろに入れたらいかがでしょうか。

笛木委員：小学生が放課後に小学校で遊べないという話を聞きましたが、川島町はどうなのでしょう。一度、家に帰らないといけないのですか。

蓮見委員：市町村、学校によって違いますが、川島町は校庭開放していますので、一回帰宅した後、遊んでかまいません。

鈴木委員：川島町には、コーディネーターがいる「放課後子ども教室」がないので、一回帰宅をしなくてはいけないのです。

蓮見委員：「放課後子ども教室」は文部科学省の事業で予算がついていますので、コーディネーターがつくことで学校の管理から離れるのです。

議 長：校庭の管理上の議論は自治体によって違いがあると思いますが、先ほどの就学児童の問31に入れたらとかがかと申しあげましたが、問30から問31までの設問は全体の人に影響してくると思いますので、ページが増えても可能であれば未就学児の調査票にも入れていただきたいと思います。

事務局：可能です。

高倉委員：未就学児の調査票問31の満足度を小学生にも聞いたほうが良いと思います。

蓮見委員：小学生は全員ではないですね。

事務局：未就学児は全員ですが、小学生は放課後児童クラブのお子さんだけというところを川島町の場合は数が少ないので全員でもできるのですが、両方届くと大変ということでどちらかの調査票が届くように調整しています。

金委員：未就学児は全員がいいですね。

鈴木委員：全体を無作為抽出ですか。

議長：お子さんがいる家庭には必ず一つの調査票が届くわけですね。全体にかかわることは共通して載せておかないといけません。相談先、選択肢など両方の調査票を統一することで、細かなことも反映させていただきたいです。修正案ができれば、メールなどすぐに委員に回る形をお願いします。

事務局：メールもしくは町内の方にはお届けすることも可能です。

### (3) 子ども・子育て支援新制度導入スケジュールについて

事務局より説明をし、ご理解をいただきました。質疑はありませんでした。

### (4) その他

次回の子ども・子育て会議について、ニーズ調査の集計結果を踏まえて、1月末から2月初旬を予定しています。

7 閉 会 高倉副会長

作成者	子育て支援課 主事補 矢島史康
-----	-----------------